

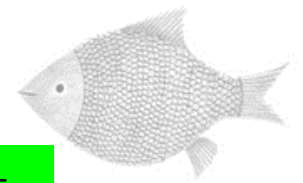
第10回『魚の涙』

第10回目の道德では、魚類学者でタレントのさかなクンが著した『魚の涙』という話から、いじめが起こらない社会をつくるために大切なことは何かを考えました。いじめについて考えることはとても大切です。しかし、とても難しいです。“いじめをしてはいけない”ということは、誰もが知っていることです。みんなが知っていることなのに、日本の中ではいじめに関するニュースが後を絶ちません。なぜ、なくなるのか。なくすことはできないのか…。とても難しい問題ですね。今回もみんな、たくさんの意見を書いてくれたので、一部ですが紹介します。

みんなの意見

「広い空の下、広い海へ出てみましょう。」と言ったさかなクンの思いは？

- ・小さなところでいじめがおきているから、広いところに行くといじめがなくなる。
- ・小さい社会を見ずに、大きい社会も見てみよう。
- ・新しい見方が見つけれられる。新しい世界が見える。
- ・自由になれるから。
- ・いじめがおきないようにするため、いろいろ知ってほしい。



魚の世界と人間の世界の違いは、何でしょう。

- ・魚は助けられないけど、人間は助けられる。
- ・人間は相談ができる。
- ・人間はいじめをする人、される人以外に、見ている人や注意する人がいる。
- ・人間は気持ちを言葉で伝えられる。

今日の授業で学んだことや考えたこと

- ・いじめを見ているだけの人が、助ける人に変わることであればいじめがすごく減ると思う。
- ・見て見ぬふりをしないで注意することはすごく勇気がいるけど、隣にいてあげるだけでいじめられている人は少しでも安心すると思うから、話を聞いてあげるだけでもいいと思った。

**いじめが起こらない社会を
つくるために大切なことは？**